

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27年 1 月 22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503171		
法人名	陽気株式会社		
事業所名	グループホームようき法成寺		
所在地	広島県福山市駅家町法成寺2808-1 (電話) 084-949-3230		
自己評価作成日	平成26年12月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3471503171-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年1月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>事業所目標を立て、目標達成に向けチーム一丸となって取り組んでいること。また日々の職員との会話や職員同士の会話を大切にし個々の思いを皆で受け止め、直面している問題を勉強会や会議で検討し、チームで統一したケアを目指していること。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>法人理念『良かったを増やす』を下に事業所として目標を掲げ、管理者・職員はチームワークを大切にして目標達成に取り組まれている。管理者は、「利用者が本来の生活を取り戻し、自宅では家族がいたので出来なかった本人の望みを叶えられる」場を提供し、職員はその実現に向けて黒子に徹して支えて行くことを目標にしている。利用者の今までの生活スタイルを尊重しその人らしい生活をして頂くために1日のスケジュールを無理強いすることはしない。職員は、共通認識を持ち本人の自己決定を引き出す支援をされている。又、「こだわりシート」を活用し本人・家族・親族・友人・知人から多様な情報を収集し利用者が望む介護計画書が作成するためモニタリングを毎月行い利用者の日々変化するニーズに即応できる体制構築に向けて実施検証されている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全職員が会社全体の理念を踏まえた上で行っていきたい介護像について話し合い、地域の中でより良く暮らせるよう事業所独自の目標を作成している。	法人理念『良かったを増やす』を下に事業所として具体的な理念目標を設定し利用者が地域の中で今まで通りの暮らしをして頂くために支える側の介護像について絶えず職員と話し合いの場を持ち毎月の会議で事業所目標の進捗について検証を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日々の挨拶を交わしている内、最近ではご近所の方から先に気付き、挨拶をしてくださる機会も増えてきた。野菜などを持ってきてくださる事もあり、交流する機会は安定してきている。	町内会に入会し地域の清掃及び行事には参加されている。町内会行事、秋の「はね祭り」では、トイレなど一時休憩所のスペースを提供し地域の一員としての役割を担っている。又、近隣の方々と交流も深まり季節の野菜を頂くなど日常的な交流がなされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	直接地域の高齢者の暮らしに役に立っているとはいえない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で取り上げられた内容はカンファレンスなどで報告、職員全員で検討を行い、サービスの改善・向上に活かしている。	運営推進会議は、多数の家族の参加で行われ毎回すべての家族から意見を頂くよう配慮されている。会議の意見は職員全員で検討を行いサービスの向上に活かしている。	運営推進会議には、家族の他に民生委員、地域包括支援センター職員が参加されているが欠席が多く町内会役員、近隣住民の参加がない。今後は開催日時を検討され地域の役員、住民等及び関係機関の参加を促す取り組みを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の開催する介護保険事業所説明会などに積極的に参加し、サービス向上に努めている。	市の主催の説明会等には積極的に参加している。又、各種報告の際に意見等アドバイスを頂いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての勉強会は定期的に行っており、研修に参加する場合もあり。学んだ内容をカンファレンスなどで発表し、職員全員で理解、認識しケアにつなげている。玄関、階段の施錠は夜間のみ行っており日中は開放している。</p>	<p>法人で定期的な研修を行っている。入社半年までの職員は4日間、現任職員は2日間の研修が義務化されている。学んだ研修内容は会議で発表及び確認試験を行い職員がより正しい理解ができるように取り組まれている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会で学ぶ機会をもうけ、各職員に意識づけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>事業所の勉強会などで学ぶ機会をもうけている。未だ必要性はないが今後活用していきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>細かく説明を行い、疑問があればその都度お聞きし理解、納得して頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置すると共に、面会時、では何か要望や意見がないかお聞きしている。運営推進会議や家族会など頂いた意見は職員全員に報告し、次に活かしている。</p>	<p>職員は、利用者・家族のニーズを把握することが、より良いケアに結び付くことを良く理解し、詳細な項目別アプローチ手順が書かれた「こだわりシート」を活用している。利用者は日々の生活の中で又、家族は面会時にその都度お聞きし運営及び利用者の介護支援に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>個人面談の際やカンファレンス、日々の関わりの中で意見を聞く機会をもうけている。</p>	<p>年に2回（2月・9月）個人面談が行なわれパート職員の業務変更や利用者の状態に合わせた共有リビングのレイアウトの変更など現状に即した意見が運営に反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況や胸の内を語りやすいよう、日々の会話を大切にしている。定期的に面談や必要に応じて話し合いを行う機会をつくり、改善しながら働きやすい環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部の研修に行く機会を設けたり、事業所内や会社全体の研修を行うことで、職員のスキルアップを行っている。また、個人の教育計画をたて、達成に向けて進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の研修に参加したり、実習で知り合った同業者とのつながりを大切にし、サービスの質を向上させていけるよう努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人に安心して日々過ごしていただけるよう、思いをくみ取ると共に、安心して胸のうちの話をいただける関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご利用者とともにご家族に心から信頼していただけるよう、気軽に何でも言える雰囲気作りを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ケアマネージャーと連携を図り、その時必要なケアサービスを見極めていけるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者を人生の先輩として尊敬し、介護される一方の立場に置かず、一緒に生活するなかで喜怒哀楽を共に感じあえる関係づくりを築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人の状態や気持ちに変化が合った場合は、面会時、又は電話などで報告し、ご本人との絆を大切にしながら、共に支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	個々の馴染みの人や場所などを職員全体が把握し、面会時に談笑しやすい環境づくりや、外出時に馴染みのある場所へお連れしたりと支援に努めている。	利用者はこの地域の方が多く、友人、知人の面会が多い。職員は馴染みの方と利用者が和やかに歓談できる配慮を行い関係継続に努めている。又、「こだわりシート」で収集した情報を基に馴染みの場所への外出を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士の関係を把握し、気の合うご利用者同士が時間を共有できる環境づくりに努めている。うまくかかわることが難しいご利用者には職員が傍に寄り添い、支えあえるような関係づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了されたご家族が職員やご利用者に話しにこられたりといい関係が築けている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや暮らし方の希望・意向などを面会時にご家族や、日々の暮らしの中でご本人から聞き取り把握して本人本位に努めている。	意向の把握は「こだわりシート」に日々の中で情報を収集し家族へは面会の度に質問内容を変えて情報を収集している。本人から聞き取り困難な場合は、家族、親族、友人、知人の面会の時に色々な情報を得て本人が何を望んでいるのか実施、検証し絶えず本人本位に検討をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントの段階で確認を行い、その後も面会時にご家族、ご本人よりお聞きしたことを記録に残し全員で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の一日の過ごし方や心身状態などを、口頭や記録などで細かく残し、全員が把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族からお聞きし、全員で共有後、随時介護計画を立てている。</p>	<p>日々利用者及び家族から意向を聴き取り毎月のモニタリングを実施し職員、関係者と検討を行い利用者家族の意向を踏まえて介護計画を作成している。利用者・家族の意向の変化に即応するため3ヶ月～6か月でプランを変更し現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの内容などを細かく記録に残し、口頭でも情報を伝え合い、職員全員が情報を共有ながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>随時ご本人やご家族のニーズを把握、理解し全職員で前向きに検討し、支援、サービスを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>趣味や様々な活動に応じていけるよう、地域の行事に参加したり、ボランティアに来ていただいたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医及び、ご家族またはご本人が希望される専門の医療機関など、個々にとって適切な医療をうけられるよう支援している。</p>	<p>基本的に利用者・家族が希望のかかりつけ医で受診しているが、提携医の病院が事業所の近隣にあるため現在では提携医に変わってきている。提携医は毎水曜日に往診に來られ24時間対応が可能であるため利用者・家族にとって安心である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>施設内の看護師は日々観察を行っており、係りつけの医療機関の看護師とも日々相談やアドバイスをいただきながら連携をとって支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された際は度々面会に行き、状態の把握・病院関係者から情報収集を行ったり、ご家族と連絡を取り合いながら情報の交換を行うなど、早期退院できるよう努めている。又、退院前には病院のカンファレンスにも参加している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>出来るだけ早い段階から主治医、ご家族と連携を密にし全員で取り組んでいくようにしている。</p>	<p>入所時に事業所の「看取り指針」に沿って利用者・家族には説明を行っている。重度化に向けて早い段階から主治医をまじえて利用者・家族へは説明している。終末期のあり方について利用者・家族の意向の変化を察知出来るように職員は情報を共有しチーム支援に努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>一年に一回は訓練を行っている。そのほか個々で講習会に参加するよう促したり本で読んだりそれぞれ知識の向上に努めている。又、個々で勉強したことはカンファレンスで発表し、全員で情報を共有している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練で行ったり、地域の方々へのご協力も頂けるようお願いしている。</p>	<p>年2回（3月・9月）に避難訓練を実施し3月は消防署の立合いで行っている。災害時の対応として法人本部を中心としたこの地域に点在する事業所等への緊急連絡網の体制は出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
あどばいすを					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の人格を尊重し、職員全員で声掛けや対応などに注意している。事業所内での勉強会も行っており、カンファレンスなどで対応の統一を行っている。	個々の利用者ごとに支援方法の手順書を作り個々の対応の統一された支援を行っている。職員の経験及び利用者との信頼関係の優劣により細かな対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員主体にならないよう十分に気を配っている。伝わりにくい方には選択できるような声掛けに変えたりと出来るだけ本人に選択していただいたり個々に合わせて支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務、職員の都合を優先せず、個々のペースを大切に、ご本人の希望にそった一日を過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装などご本人に選択していただけるよう努めている。難しい方には色の好みやその日の気温などをお伝えし、複数の中から選択していただいたり個々にあわせて支援している。又、昔馴染みの理髪店などを希望される場合はお連れしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	買い物と一緒に行き、好物やその日に食べたいものをお聞きしている。又、メニューも一緒に考え、食事作りも手伝っていただきながら、食事が楽しみなものになるよう努めている。	食事のメニューは利用者と一緒に決め2～3日ごとに利用者を買物に行っている。利用者が日常的に行っていた調理作業をお任せし職員と一緒に調理されている。時には利用者の希望で外食に出掛けることもあり食事を楽しみなものになるように対応される。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日記録に残し、個々の平均値の把握もしている。個々に応じた形で対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>個々にあわせた方法で口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンや習慣を把握し，排泄の失敗により自尊心が傷つかないように注意しながら，できるだけ自立した排泄を行っていただけるよう支援している。</p>	<p>個々の利用者の排泄パターンを把握しその利用者に合わせたトイレの誘導を行っている。現在殆どの利用者が布パンツにパットへ移行し自立に向けた支援が行なわれている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>すぐに薬に頼ることはせず腹部のマッサージや食物繊維の含まれる食品を多く献立に入れたり，エクストラバージンオイルの使用や，牛乳や豆乳を飲んでいただくなど，水分摂取の配慮などに努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望のある方は極力希望通りに対応している。訴えの少ない方も曜日や時間など職員の都合だけでなくご本人の思いや体調を大切にしている。</p>	<p>利用者の希望により毎日入浴される方もおられるが平均して週2～3回のペースで入浴されている。現在入浴拒否の方はおられないが入浴を楽しんで頂くよう職員がコミュニケーション取りながら入浴支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間は決まっておらず、個々の希望される時に休んでいただいている。訴えない方は、表情を観察したり、声掛けを行いご本人が気持ちよく休んでいただけるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬については参考資料を置いたり処方箋などで把握し全職員で共有している。新しく処方された薬は口頭や記録などに残し、全員が内容を把握するよう努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>今までの生活歴をご家族、ご利用者から伺い、それを活かせる環境づくりや、楽しめる時間を設け気分転換をしていただけるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>地域の方の協力をお願いしていないがご本人の希望がある日、または天気の良い日には出かけている。遠方や個別になる場合はご家族と相談し協力を得て行っている。買い物は全てご利用者と共に行っている。</p>	<p>普段の散歩や食材の買物など日常的に外出されている。又、利用者の日々の希望に応じ行きつけのストアや飲食店、娯楽場、釣りなど家族の協力を頂きながら出来る限り対応されている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族、本人よりご希望のある方は所持して頂き自由に使えるようにしていただいている。普段はお預かりしているが買い物時に所持して頂き一緒に買い物に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望がある場合は自ら電話で話しをしていただいている、手紙は職員が投函し、安心していただけるようご本人にお伝している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節のものを飾ったり四季を感じていただけるよう努めている。冷暖房器具の調節、カーテンの調整などに配慮し行っている。常にご利用者の立場で考えている。</p>	<p>リビングには、利用者と共に作成された貼り絵などが展示されている。応接ソファ一傍に設置された大型テレビの他に職員から利用者が見つらい方がおられるとの提案がありもう一台テレビが設置されている。エアコン排出口には排出方向を変える器具が設置され居心地良く生活できる配慮がなされてる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>色々な場所に机や椅子を置いており、ご本人が過ごしやすい空間づくりに努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地の良い空間で過ごしていただけるよう、使い慣れたものや馴染みのある家具をご家族に持ってきていただいている。</p>	<p>自宅の住み慣れた馴染みの物に囲まれた空間を再現出来ればと利用者・家族に説明されている。出来る限りレイアウトを工夫し自宅のような居心地の良い居室になるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>できることはしていただき、できないところは手伝わせてもらっている。ご本人が不快にならないよう注意し、自然な声掛けや傍で見守りをさせていただき、トイレや居室などは一目で分かるよう表示している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームようき法成寺

作成日 平成27年1月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議への、地域の方の参加・地域包括の参加が少なく、地域との連携、情報の共有がはかりにくい。	自治会や地域包括の参加を増やし、連携がはかれることで、地域とのつながりが深まり、情報共有ができる。	自治会や地域包括の参加を目的とした、開催日を設けて、こちらからのアプローチも増やしていく。	年内
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。